

心のサポート心理判定員の取り組み・心理判定員

心理判定員という職種については馴染みがない方が多いと思われます。心理面に関する相談を専門に行う職種と考えていただければ良いかと思えます。学校では「スクールカウンセラー」という名称で活動をしていますし、自治体の医療や相談機関では「心理判定員」の職名で勤務している場合が多いです。

当院は来春に緩和ケア病棟を開設する予定ですが、当院の緩和ケアの取り組みは緩和ケアチームとして10年以上の実績があり、現在、緩和ケア専用の病床もあります。心理判定員も緩和ケアチーム設立当初より活動にかかわっています。



【緩和ケアでは下記のようなお手伝いを行っています】

1. 不安や抑うつ、ストレス症状の緩和のためのセルフコントロール向上のお手伝い
気持ちや生活上の問題を整理・対応方法を見つけてもらえるよう助言し、心身の苦痛緩和のための方法の練習、不安・ストレスのセルフコントロール方法を身につけてもらえるようお手伝いしています。
2. セルフケア行動の形成・維持のお手伝い
生活習慣改善の助言・治療・療養のために必要なセルフケア行動を形成するためのお手伝いをしています。
3. 病気の受容や適応のためのお手伝い
退院した際に生じる生活上のハンディキャップや心理的問題への支援や代替方法を一緒に考え、障害受容などへのお手伝いをしています。
4. 家族のケア
患者さんご本人だけではなく、ご家族の方の心身のご負担が軽減できるよう、心理的ケアや心身に生じるストレスへのケアをお手伝いしています。

上記のこと以外でも、何かご相談ごとがあれば、お知らせいただければと思います。

医療ソーシャルワーカーの取り組み・医療ソーシャルワーカー 伊藤 慶洋

医療ソーシャルワーカーは、いわゆる病院の「相談員」として、患者さんやご家族が抱える経済的・心理社会的な問題を社会福祉の立場からサポートする役割を担っており、その解決に向けて、ニーズに適した社会資源の情報提供や手続きの援助、意思決定の支援などを行っております。

相談内容としては、福祉制度の利用、経済的な問題や就労についての相談、受診の相談、本人の不安や気持ちのつらさ、家族間の葛藤、在宅療養のための介護サービス・訪問医療導入の相談など多岐にわたり、生活と密接に関わるものも多くなっております。そのような問題に対し院内外の専門職種と連携しながら、患者さんやご家族が不安なく療養を続けられるようにサポートいたします。

緩和ケアチーム員としては、週に1回緩和ケアカンファレンスに参加し入院患者さんの状態を把握、必要に応じて病室を訪問して直接お話を伺うなど介入させていただいております。また、がんの治療・療養は長期に渡ることが多く、復職や働きながら治療することに不安を抱かれる患者さんに対し、本人の思いを伺い、ご希望される方には医療機関と職場との間で情報を共有するなどの仲介・調整としてご協力もしております。

当院では、がんに関する様々な相談窓口として、院内1階の地域医療連携総合センター内にがん相談支援センターを開設しております。患者さんやご家族に限らず地域の方々もご利用頂けますので、ご相談事がございましたらどうぞお気軽にご相談ください。

